

○広島修道大学経済科学部履修細則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この細則は、広島修道大学学則(以下「学則」という。)に基づき、経済科学部学生の履修及び単位の認定に必要な事項を定める。

2 本細則に定めるもののほか、必要な事項については、経済科学部教授会の議を経てこれを定める。

(単位算定基準)

第2条 各授業科目の単位算定基準は、30時間の授業をもって2単位とし、60時間の授業をもって4単位とする。ただし、別表1において1単位と定められている科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

(科目区分、科目分類及び卒業所要単位数)

第3条 経済科学部の科目区分は、修道スタンダード科目、共通教育科目、主専攻科目及び自由選択科目とし、卒業には、次の表の各科目分類ごとの修得単位数を満たし、合計124単位以上修得しなければならない。

[現代経済学科] [経済情報学科]

科目区分	科目分類		修得単位数		卒業所要単位数
修道スタンダード科目	全学共通科目		10単位以上		124単位以上
共通教育科目	教養科目			18単位以上	
	外国語科目	英語	2単位以上		
		初修外国語	2単位以上		
	保健体育科目		実習科目1単位以上		
主専攻科目	A群		10単位以上	78単位以上	
	B群		14単位以上		
	C群		14単位以上		
	D群				
	E群				
	F群		4単位以上		
	G群				
	H群				
	I群				

自由選択科目		
--------	--	--

(配当年次、単位修得)

第4条 学則第10条第1項別表2の授業科目のうち、経済科学部の授業科目の配当年次、単位修得についての詳細は、別表1、別表2及び別表3の授業科目配当表に定める。

- 2 本細則別表2については2006年度以前に入学した者に適用する。
- 3 本細則別表3については、2007年度以降2010年度以前に入学した者に適用する。

第2章 履修科目の登録、履修方法及び制限

(履修科目の登録)

第5条 学生は、指定登録日に所定の履修手続きにより、授業科目の中から履修科目を登録しなければならない。

- 2 履修科目の選択は、別表1の授業科目配当表に従い行わなければならない。
- 3 既に単位を修得した授業科目については、履修登録することができない。ただし、副題の異なる同一授業科目の履修についてはその限りではない。
- 4 副題の異なる同一授業科目については、別にこれを定める。
- 5 主専攻科目のゼミナールについては、担当教員の承認を受けて登録しなければならない。

(授業科目の履修)

第6条 授業科目の履修は特別な場合を除き、授業科目配当表に定められた年次で履修しなければならない。ただし、再度履修する場合は、その限りではない。

(他学部、他学科授業科目の履修)

第7条 他学部、他学科に属する授業科目を履修することができる。

- 2 他学部、他学科の授業科目は別に定める科目のうちから履修することができる。この場合、修得した単位は両学科とも自由選択科目として卒業所要単位に算入することができる。
- 3 前2項の規定にかかわらず、所属学科に開設されている授業科目及び別に定める授業科目については他学部、他学科の授業科目として履修することができない。

(履修単位数の制限)

第8条 学生が1年間に履修し得る単位数は、他学部、他学科の授業科目も含めて各年次とも44単位を超えることができない。

- 2 学生が前期又は後期に履修し得る単位数は、通年科目を除いて、24単位を超えること

ができない。ただし、4年次に限り28単位まで履修することができる。

- 3 教育職員免許状を取得するために履修する教職に関する科目の単位数は、第1項及び第2項に定める履修単位数に含まないものとする。
- 4 編入学生及び学士入学生についての履修単位数の制限は、単位換算決定後にこれを定める。

(主専攻科目の履修制限)

第9条 両学科にそれぞれ履修指導科目を設ける。履修登録にあたっては、履修指導科目等の指針に従って履修を行うことが望ましい。

(副専攻コース)

第10条 別に定める副専攻授業科目のうちから合計30単位以上修得した者は各学部のコースを修了したものとする。

(英語副専攻コース)

第11条 別に定める授業科目のうちから合計24単位以上修得し、指定の外部資格を取得した者は英語副専攻コースを修了したものとする。

(グローバルコース)

第12条 別に定める授業科目のうちから、国際理解科目6単位以上、英語トレーニング科目24単位以上、の合計30単位以上を修得し、指定の留学プログラム及びサービスラーニングにより24単位以上を修得した者はグローバルコースを修了したものとする。

(地域イノベーションコース)

第13条 別に定める授業科目のうちから、全学プログラム修道スタンダード科目6単位以上、同プログラムコース共通科目8単位以上、学部別プログラム6単位以上、指定の認定プログラム4単位以上を含む合計30単位以上を修得した者は地域イノベーションコースを修了したものとする。

(検定試験等の単位認定)

第14条 学生が別に定める検定試験等に合格したとき又は所定の成果をあげたときは、これに係る学修につき所定の単位を認定することがある。

- 2 前項の単位認定を希望する学生は、各学年の指定期間内に、所定の検定試験等単位認定申請書により願い出なければならない。
- 3 第1項により認定された単位は、所定の授業科目群の卒業所要単位に算入する。

第3章 試験、単位認定及び成績評価

(試験、単位認定及び成績評価)

第15条 各授業科目に対する単位の認定は、原則として広島修道大学試験細則に定める試験により行う。

2 第1項の規定にかかわらず、授業科目担当教員により、次に掲げるいずれかによって単位の認定を行うことができる。

(1) 平常の成績

(2) 課題研究報告書

(3) 平常の成績及び課題研究報告書

3 成績評価は、広島修道大学学則第18条の定めに従い行う。なお、Xは評価不能を示すものとする。

第4章 その他

(事務担当)

第16条 この細則に関する事務は、教務課が担当する。

(細則の改廃)

第17条 この細則の改廃は、大学評議会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

1 この細則は、1997年4月1日から施行する。

2 この細則は、2002年2月7日に第2条の別表、第3条の別表、第4条第1項、同条第2項の別表、第6条及び第8条から第11条を改正し、新たに第11条の2を追加し、2002年4月1日から施行する。ただし、2001年度以前に入学した者については、第4条第1項及び第6条を除き、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 この細則は、2006年11月2日に全面改正し、2007年4月1日から施行する。ただし、2006年度以前に入学した者については、第5条第1項を除き改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとし、改正前の第4条別表に加えて、改正後の第4条別表2の授業科目についても履修できるものとする。

4 この細則は、2010年9月9日に第3条、第8条第1項、同条第2項を改正し、第9条、第10条、第11条第2項、同条第3項を削り、以下条文を繰り上げて、2011年4月1日から施行する。ただし、2010年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。

5 この細則は、規程等整理の方針に基づき、2011年8月4日に改正し、同日から施行する。

6 この細則は、2011年8月4日に第4条第1項を改正し、新たに第4条第3項及び同条別表3を追加し、2012年4月1日から施行する。

7 この細則は、2013年3月7日に第13条を改正し、第14条、第15条、第16条、第17条及び

第18条を削り、以下条数を繰り上げて2013年4月1日から施行する。

- 8 この細則は、2014年1月9日に第4条第1項別表1、第5条第2項別表1、第10条及び第11条を改正し、第12条、第13条を追加し、以下条数を繰り下げて2014年4月1日から施行する。ただし、2013年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。

別表1(第3条及び第4条及び第5条第2項関係)

経済科学部授業科目配当表

(1) 経済科学部授業科目(二学科共通)

科目区分	科目分類	授業科目 の名称	単位数		配当年次	単位修得
			必修	選択		
修道スタンダード科目	全学共通科目	修大基礎講座		2	1	(1)英語4単位及び情報処理入門2単位を含む10単位以上を修得しなければならない。ただし、地域イノベーション論、地域コミュニケーション論、ひろしま未来協創プロジェクト及びひろしま未来協創特講の修得単位を、10単位に含めることはできない。 (2)外国人留学生等については、日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳをもって英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳに代えることができる。 (3)修大基礎講座及び初年次セミナーは、原則として1年次に、大学生活とキャリア形成は原則として2年次に履修するものとする。 (4)修大基礎講座は、再度の履修をすることが
		初年次セミナー		2	1	
		英語Ⅰ	1		1	
		英語Ⅱ	1		1	
		英語Ⅲ	1		1	
		英語Ⅳ	1		1	
		日本語Ⅰ	1		1・2・3・4	
		日本語Ⅱ	1		1・2・3・4	
		日本語Ⅲ	1		1・2・3・4	
		日本語Ⅳ	1		1・2・3・4	
		情報処理基礎		2	1・2・3・4	
情報処理入門	2		1			
大学生活とキャリア形成		2	2			
広島学		2	2・3・4			

		地域イノベーション論		2	1・2・3・4	<p>できない。</p> <p>(5)情報処理基礎は、情報処理入門の単位を修得していなければ履修できない。</p> <p>(6)大学生活とキャリア形成は、再々度の履修をすることができない。</p> <p>(7)情報処理基礎、広島学、ひろしま未来協創プロジェクト及びひろしま未来協創特講については、副題の異なるものは複数履修することができる。ただし、広島学については、1年間に履修できる回数は1回のみとする。</p>	
		地域コミュニケーション論		2	1・2・3・4		
		ひろしま未来協創プロジェクト		2	2・3・4		
		ひろしま未来協創特講		1	1・2・3・4		
共通教育科目	教養科目	哲学		2	1・2・3・4	<p>(1)総合教養コースは卒業までに合計1科目2単位のみ修得することができる。</p> <p>(2)日本事情は外国人留学生等のみ履修することができる。</p>	共通教育科目については、18単位以上修得しなければならない。
		倫理学		2	1・2・3・4		
		美学		2	1・2・3・4		
		芸術学		2	1・2・3・4		
		日本文学		2	1・2・3・4		
		西洋文学		2	1・2・3・4		
		日本語学		2	1・2・3・4		
		心理学		2	1・2・3・4		
		文化論		2	1・2・3・4		

			4		
	文化人類学	2	1・2・3・4		
	日本史	2	1・2・3・4		
	東洋史	2	1・2・3・4		
	西洋史	2	1・2・3・4		
	地理学	2	1・2・3・4		
	社会学	2	1・2・3・4		
	法学	2	1・2・3・4		
	政治学	2	1・2・3・4		
	経済学	2	1・2・3・4		
	統計学	2	1・2・3・4		
	情報社会論	2	1・2・3・4		
	物理学	2	1・2・3・4		
	化学	2	1・2・3・4		
	生物学	2	1・2・3・4		
	環境科学	2	1・2・3・4		
	数学	2	1・2・3・4		
	日本事情	2	1・2・3・4		
	教養講義	2	1・2・3・4		

					4	
		総合教養 講義a		2	1・2・3・ 4	
		総合教養 講義b		2	2・3・4	
		総合教養 コース		2	1・2・3・ 4	
外国語科 目	英語	総合英語 I		1	2・3・4	(1)英語科 目につい ては、2単 位以上修 得しなけ ればなら ない。 (2)英語科 目は、当該 学期のレ ベル区分 に基づき 履修する。 レベル1の 学生は、2 年次に総 合英語 I・IIを必 修とする。 レベル2・ レベル3・ レベル4の 学生は、総 合英語 I・IIを除 く英語科 目の中か ら2単位を 選択必修
		総合英語 II		1	2・3・4	
		英語文書 表現I		2	1・2・3・ 4	
		英語文書 表現II		2	1・2・3・ 4	
		英語文書 表現III		2	1・2・3・ 4	
		英語文書 表現IV		2	1・2・3・ 4	
		英語読解 I		2	1・2・3・ 4	
		英語読解 II		2	1・2・3・ 4	
		英語読解 III		2	1・2・3・ 4	
		英語読解 IV		2	1・2・3・ 4	
		英語聴解 I		2	1・2・3・ 4	
		英語聴解 II		2	1・2・3・ 4	
		英語聴解 III		2	1・2・3・ 4	
		英語聴解 IV		2	1・2・3・ 4	
				英語コ		

			ションⅡ				た学生は、
			アドバ ンスト英語		2	1・2・3・ 4	レベル2以 上にアップ
			オンライ ン英語実 習Ⅰ		1	1・2・3・ 4	プした場合 も、総合英 語Ⅰ又
			オンライ ン英語実 習Ⅱ		1	1・2・3・ 4	はⅡを引 き続き履 修するこ とができ
			日本語Ⅴ		1	1・2・3・ 4	る。
			日本語Ⅵ		1	1・2・3・ 4	(5)オンラ イン英語 実習Ⅰ・Ⅱ はレベル 無し科目 とし、レベ ル1・レベ ル2・レベ ル3・レベ ル4の学生 が履修で きる。 (6)アドバ ンスト英 語は、レベ ル4の学生 が履修で きる。 (7)外国人 留学生等 については、 英語科目に 代えて日本 語Ⅴ・Ⅵを履

							修し、卒業 所要単位 とすること ができる。
	初修外国 語	ドイツ語 I		1	1・2・3・ 4	(1)初修外国語については、2単位以上修得しなければならない。 (2)言語と文化Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ及び上級外国語Ⅰ・Ⅱは副題の異なる科目とし、当該外国語のⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの4単位を修得していなければ、履修できない。 (3)外国人留学生等については、日本語Ⅶ・Ⅷ・Ⅸ・Ⅹを履修し、卒業	
		ドイツ語 II		1	1・2・3・ 4		
		ドイツ語 III		1	1・2・3・ 4		
		ドイツ語 IV		1	1・2・3・ 4		
		フランス 語Ⅰ		1	1・2・3・ 4		
		フランス 語Ⅱ		1	1・2・3・ 4		
		フランス 語Ⅲ		1	1・2・3・ 4		
		フランス 語Ⅳ		1	1・2・3・ 4		
		スペイン 語Ⅰ		1	1・2・3・ 4		
		スペイン 語Ⅱ		1	1・2・3・ 4		
		スペイン 語Ⅲ		1	1・2・3・ 4		
		スペイン 語Ⅳ		1	1・2・3・ 4		
		中国語Ⅰ		1	1・2・3・ 4		
		中国語Ⅱ		1	1・2・3・ 4		
		中国語Ⅲ		1	1・2・3・ 4		
		中国語Ⅳ		1	1・2・3・ 4		

					4	所要単位 とするこ とができ る。
		韓国・朝鮮 語 I		1	1・2・3・ 4	
		韓国・朝鮮 語 II		1	1・2・3・ 4	
		韓国・朝鮮 語 III		1	1・2・3・ 4	
		韓国・朝鮮 語 IV		1	1・2・3・ 4	
		言語と文 化 I		2	2・3・4	
		言語と文 化 II		2	2・3・4	
		言語と文 化 III		2	2・3・4	
		言語と文 化 IV		2	2・3・4	
		上級外国 語 I		2	2・3・4	
		上級外国 語 II		2	2・3・4	
		日本語VII		1	1・2・3・ 4	
		日本語VIII		1	1・2・3・ 4	
		日本語IX		1	1・2・3・ 4	
		日本語X		1	1・2・3・ 4	
	保健体育科目	健康科学 論		2	1・2・3・ 4	(1)保健体 育科目に ついては 実習科目1 単位以上 修得しな ければな
		運動科学 論		2	1・2・3・ 4	
		健康科学 演習		2	1・2・3・ 4	
		運動科学		2	1・2・3・	

		演習			4	らない。 (2)保健体育科目の実習科目は8単位まで修得することができる。
		健康スポーツ実習		1	1・2・3・4	
		運動スポーツ実習		1	1・2・3・4	
		野外運動実習Ⅰ		1	2・3・4	
		野外運動実習Ⅱ		1	2・3・4	

(2) 現代経済学科授業科目

科目区分	科目分類	授業科目の名称	単位数		配当年次	単位修得	
			必修	選択			
主専攻科目	A群	経済分析入門Ⅰ		2	1・2・3・4	10単位以上修得しなければならない。	主専攻科目から合計78単位以上修得しなければならない。
		経済分析入門Ⅱ		2	1・2・3・4		
		ミクロ経済学Ⅰ		2	2・3・4		
		ミクロ経済学Ⅱ		2	2・3・4		
		マクロ経済学Ⅰ		2	2・3・4		
		マクロ経済学Ⅱ		2	2・3・4		
		数理経済学Ⅰ		2	3・4		
		数理経済学Ⅱ		2	3・4		
		計量経済学Ⅰ		2	3・4		
		計量経済学Ⅱ		2	3・4		
		情報経済学		2	3・4		

		I				
		情報経済学 II		2	3・4	
	B群	現代経済概 論 I		2	1・2・3・4	14単位以上 修得しなけ ればならな い。
		現代経済概 論 II		2	1・2・3・4	
		金融論 I		2	2・3・4	
		金融論 II		2	2・3・4	
		国際経済学 I		2	2・3・4	
		国際経済学 II		2	2・3・4	
		インターナ ショナル ファイナン ス I		2	2・3・4	
		インターナ ショナル ファイナン ス II		2	2・3・4	
		金融経済論 I		2	3・4	
		金融経済論 II		2	3・4	
		金融政策 I		2	3・4	
		金融政策 II		2	3・4	
		ファイナン ス論 I		2	3・4	
		ファイナン ス論 II		2	3・4	
		コンピュ ータ経済学 I		2	3・4	
		コンピュ ータ経済学 II		2	3・4	
	日本経済論		2	3・4		

		I				
		日本経済論		2	3・4	
		II				
	C群	社会経済学		2	2・3・4	14単位以上 修得しな ければなら ない。
		I				
		社会経済学		2	2・3・4	
		II				
		経済史 I		2	2・3・4	
		経済史 II		2	2・3・4	
		経済学史 I		2	2・3・4	
		経済学史 II		2	2・3・4	
		消費経済学		2	3・4	
		I				
		消費経済学		2	3・4	
		II				
		産業経済学		2	3・4	
		I				
		産業経済学		2	3・4	
		II				
		公共経済学		2	3・4	
		I				
		公共経済学		2	3・4	
		II				
	財政学 I		2	3・4		
	財政学 II		2	3・4		
	経済政策 I		2	3・4		
	経済政策 II		2	3・4		
	地域経済論		2	3・4		
	I					
	地域経済論		2	3・4		
	II					
	労働経済学		2	3・4		
	I					
	労働経済学		2	3・4		
	II					
	環境経済学		2	3・4		

		I				
		環境経済学		2	3・4	
		II				
D群		プレゼミナール		2	2・3・4	(1)ゼミナールIの単位を修得していなければ、原則としてゼミナールIIの履修はできない。 (2)ゼミナールI・IIの単位を修得していなければ、ゼミナールIIIの履修はできない。 (3)ゼミナールI・II・III及び卒業論文は、原則として同一担当者のゼミナール及び卒業論文を履修しなければならない。
		ゼミナールI		2	3・4	
		ゼミナールII		2	3・4	
		ゼミナールIII		2	4	
		卒業論文		4	4	
E群		外国書講読		2	3・4	
		特殊講義		2	3・4	
F群		情報処理応用		2	1・2・3・4	4単位以上修得しなければならない。
		経済数学入		2	1・2・3・4	

		門Ⅰ				い。		
		経済数学入門Ⅱ		2	1・2・3・4			
		経済統計学Ⅰ		2	2・3・4			
		経済統計学Ⅱ		2	2・3・4			
G群		憲法Ⅰ		2	1・2・3・4			
		憲法Ⅱ		2	1・2・3・4			
		民法Ⅰ		2	1・2・3・4			
		民法Ⅱ		2	1・2・3・4			
		商法Ⅰ		2	2・3・4			
		商法Ⅱ		2	2・3・4			
		経済法		2	2・3・4			
H群		システム科学入門Ⅰ		2	1・2・3・4			
		システム科学入門Ⅱ		2	1・2・3・4			
		情報科学入門Ⅰ		2	1・2・3・4			
		情報科学入門Ⅱ		2	1・2・3・4			
		経営システム科学Ⅰ		2	2・3・4			
		経営システム科学Ⅱ		2	2・3・4			
		情報ネットワーク概論Ⅰ		2	2・3・4			
		情報ネットワーク概論Ⅱ		2	2・3・4			
		情報社会概論Ⅰ		2	2・3・4			
		情報社会概論Ⅱ		2	2・3・4			

		マネジメン トシステム 論		2	3・4		
		プロジェク トマネジメ ント論		2	3・4		
		シミュレー ション論Ⅰ		2	3・4		
		シミュレー ション論Ⅱ		2	3・4		
		法情報論Ⅰ		2	3・4		
		法情報論Ⅱ		2	3・4		
		ソフトウェ アⅠ		2	3・4		
		ソフトウェ アⅡ		2	3・4		
		システム設 計		2	3・4		
		システム監 査論		2	3・4		
	I群	英語ディス カッション Ⅰ		2	1・2・3・4		
		英語ディス カッション Ⅱ		2	1・2・3・4		
		英語ディス カッション Ⅲ		2	1・2・3・4		
		英語ディス カッション Ⅳ		2	1・2・3・4		
		時事英語Ⅰ		2	1・2・3・4		
		時事英語Ⅱ		2	1・2・3・4		
		時事英語Ⅲ		2	1・2・3・4		
		時事英語Ⅳ		2	1・2・3・4		

		ビジネス英語 I		2	1・2・3・4		
		ビジネス英語 II		2	1・2・3・4		
		ビジネス英語 III		2	1・2・3・4		
		ビジネス英語 IV		2	1・2・3・4		
		異文化英語研究 I		2	1・2・3・4		
		異文化英語研究 II		2	1・2・3・4		
		異文化英語研究 III		2	1・2・3・4		
		異文化コミュニケーション I		2	1・2・3・4		
		異文化コミュニケーション II		2	1・2・3・4		
		異文化コミュニケーション III		2	1・2・3・4		

(3) 経済情報学科授業科目

科目区分	科目分類	授業科目の名称	単位数		配当年次	単位修得	
			必修	選択			
主専攻科目	A群	経済分析入門 I		2	1・2・3・4	10単位以上修得しなければならない。	主専攻科目から合計78単位以上修得しなければならない。
		経済分析入門 II		2	1・2・3・4		
		ミクロ経済学 I		2	2・3・4		
		ミクロ経済学 II		2	2・3・4		
		マクロ経済学		2	2・3・4		

		学Ⅰ				
		マクロ経済学Ⅱ		2	2・3・4	
		数理経済学Ⅰ		2	3・4	
		数理経済学Ⅱ		2	3・4	
		計量経済学Ⅰ		2	3・4	
		計量経済学Ⅱ		2	3・4	
		情報経済学Ⅰ		2	3・4	
		情報経済学Ⅱ		2	3・4	
	B群	システム科学入門Ⅰ		2	1・2・3・4	14単位以上修得しなければならない。
		システム科学入門Ⅱ		2	1・2・3・4	
		経済システム科学Ⅰ		2	2・3・4	
		経済システム科学Ⅱ		2	2・3・4	
		経営システム科学Ⅰ		2	2・3・4	
		経営システム科学Ⅱ		2	2・3・4	
		数理統計学Ⅰ		2	2・3・4	
		数理統計学Ⅱ		2	2・3・4	
		シミュレーション論Ⅰ		2	3・4	
		シミュレーション論Ⅱ		2	3・4	
		社会システ		2	3・4	

		ム科学 I				
		社会システム科学 II		2	3・4	
		マネジメントシステム論		2	3・4	
		プロジェクトマネジメント論		2	3・4	
		応用確率システム論		2	3・4	
		システム設計		2	3・4	
		システム監査論		2	3・4	
	C群	情報科学入門 I		2	1・2・3・4	14単位以上修得しなければならない。
		情報科学入門 II		2	1・2・3・4	
		情報処理 I		2	2・3・4	
		情報処理 II		2	2・3・4	
		情報ネットワーク概論 I		2	2・3・4	
		情報ネットワーク概論 II		2	2・3・4	
		情報数学 I		2	2・3・4	
		情報数学 II		2	2・3・4	
		情報社会概論 I		2	2・3・4	
		情報社会概論 II		2	2・3・4	
		法情報論 I		2	3・4	
		法情報論 II		2	3・4	
		ソフトウェア		2	3・4	

		アⅠ				
		ソフトウェア アⅡ		2	3・4	
		コンピューター グラフィックス Ⅰ		2	3・4	
		コンピューター グラフィックス Ⅱ		2	3・4	
	D群	ゼミナール Ⅰ		2	3・4	(1)ゼミナールⅠの単位を修得していなければ、原則としてゼミナールⅡを履修できない。 (2)ゼミナールⅠ・Ⅱの単位を修得していなければ、ゼミナールⅢの履修はできない。 (3)ゼミナールⅢの単位を修得していなければ、原則としてゼミナールⅣの履修はでき
		ゼミナール Ⅱ		2	3・4	
		ゼミナール Ⅲ		2	4	
		ゼミナール Ⅳ		2	4	
		卒業論文		4	4	

						ない。 (4)ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ及び卒業論文は、原則として同一担当者のゼミナール及び卒業論文を履修しなければならない。
E群	マルチメディア演習		2	2・3・4		
	計測・制御演習		2	2・3・4		
	情報システム演習		2	3・4		
	情報通信ネットワーク演習		2	3・4		
	外国書講読		2	3・4		
	特殊講義		2	3・4		
F群	代数学Ⅰ		2	1・2・3・4	4単位以上 修得しなければならない。	
	代数学Ⅱ		2	1・2・3・4		
	解析学Ⅰ		2	1・2・3・4		
	解析学Ⅱ		2	1・2・3・4		
	基礎解析Ⅰ		2	1・2・3・4		
	基礎解析Ⅱ		2	1・2・3・4		
	基礎解析Ⅲ		2	2・3・4		
G群	憲法Ⅰ		2	1・2・3・4		
	憲法Ⅱ		2	1・2・3・4		
	民法Ⅰ		2	1・2・3・4		
	民法Ⅱ		2	1・2・3・4		
	商法Ⅰ		2	2・3・4		

		商法Ⅱ		2	2・3・4		
		経済法		2	2・3・4		
	H群	金融論Ⅰ		2	2・3・4		
		金融論Ⅱ		2	2・3・4		
		国際経済学Ⅰ		2	2・3・4		
		国際経済学Ⅱ		2	2・3・4		
		インターナショナルファイナンスⅠ		2	2・3・4		
		インターナショナルファイナンスⅡ		2	2・3・4		
		社会経済学Ⅰ		2	2・3・4		
		社会経済学Ⅱ		2	2・3・4		
		経済史Ⅰ		2	2・3・4		
		経済史Ⅱ		2	2・3・4		
		消費経済学Ⅰ		2	3・4		
		消費経済学Ⅱ		2	3・4		
		産業経済学Ⅰ		2	3・4		
		産業経済学Ⅱ		2	3・4		
		公共経済学Ⅰ		2	3・4		
		公共経済学Ⅱ		2	3・4		
		財政学Ⅰ		2	3・4		
		財政学Ⅱ		2	3・4		

		経済政策 I		2	3・4		
		経済政策 II		2	3・4		
		環境経済学 I		2	3・4		
		環境経済学 II		2	3・4		
	I群	英語ディス カッション I		2	1・2・3・4		
		英語ディス カッション II		2	1・2・3・4		
		英語ディス カッション III		2	1・2・3・4		
		英語ディス カッション IV		2	1・2・3・4		
		時事英語 I		2	1・2・3・4		
		時事英語 II		2	1・2・3・4		
		時事英語 III		2	1・2・3・4		
		時事英語 IV		2	1・2・3・4		
		ビジネス英 語 I		2	1・2・3・4		
		ビジネス英 語 II		2	1・2・3・4		
		ビジネス英 語 III		2	1・2・3・4		
		ビジネス英 語 IV		2	1・2・3・4		
		異文化英語 研究 I		2	1・2・3・4		
		異文化英語 研究 II		2	1・2・3・4		
		異文化英語 研究 III		2	1・2・3・4		

		異文化コミュニケーションⅠ		2	1・2・3・4		
		異文化コミュニケーションⅡ		2	1・2・3・4		
		異文化コミュニケーションⅢ		2	1・2・3・4		

別表2(第4条関係)

(1) 両学科共通科目

科目分類	授業科目の名称	単位数	配当年次	備考
教養科目	美学	2	1～4	
	教養講義	2	1～4	
外国語科目	言語と文化Ⅰ	2	2～4	
	言語と文化Ⅱ	2	2～4	
	言語と文化Ⅲ	2	2～4	
	言語と文化Ⅳ	2	2～4	

別表3(第4条関係)

(1) 両学科共通科目

科目区分	科目分類		授業科目の名称	単位数		配当年次	単位修得
				必修	選択		
共通教育科目	外国語科目	英語	アドバンスト英語		2	1・2・3・4	アドバンスト英語は、TOEICスコア500以上又はTOEIC－Bridgeスコア154以上の学生が履修できる。

		初修外国語	上級外国語 I		2	2・3・4	上級外国語 I・IIは副 題の異なる 科目とし、 当該外国語 のI・II・ III・IVの4単 位を修得し ていなければ、履修で きない。
			上級外国語 II		2	2・3・4	